

精神保健福祉施策について

目 次

1.	精神保健福祉相談・訪問等件数	1
2.	普及啓発・教育研修	3
3.	依存症対策	5
4.	精神医療審査会・判定会議	8
5.	新潟市ひきこもり相談支援センター	12
6.	精神科救急医療対策事業	14
7.	措置入院	18
8.	受診勧奨	23
9.	精神障がい者地域移行・地域定着支援事業	25
10.	精神保健福祉関係事業歳出予算	27

1. 精神保健福祉相談・訪問等件数

1 相談・訪問の実績年次推移

単位：件

	相談延件数				※ (訪問延件数) 内は受診勧奨件数			
	総数	こころの健康センター	精神保健福祉室	区役所(保健師)	総数	こころの健康センター	精神保健福祉室	区役所(保健師)
平成28年度	10,455	4,634	330	5,491	1,763	0	166 (57)	1,763
平成29年度	11,583	5,125	398	6,060	1,655	2	244 (66)	1,653
平成30年度 (H30.4月～H31.1月)※1	9,838	4,698	348	4,792	1,584	3	247 (44)	1,581
平成30年度(見込み) ※1÷10ヶ月×12ヶ月	11,806	5,638	418	5,750	1,901	4	296 (52)	1,897

2 精神保健福祉相談実績（こころの健康センター分）

ア 来所相談

相談名	開催日	平成28年度			平成29年度			平成30年度（1月末）		
		開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数 (年間回数)	実人数	延人数
精神科医による精神保健福祉相談	毎週木曜日	48	61	76	46	64	73	50	55	66
精神科医による高齢者精神保健福祉相談	第2火曜日・第4木曜日	23	17	18	23	19	19	23	18	18
精神科医による思春期青年期相談	偶数月の第2木曜日	6	7	7	6	9	9	6	9	9
専門の相談員による「依存症相談」 (H28年度まで「酒害相談員による酒害相談」)	第1・3月曜日	20	11	11	20	15	20	20	15	15
臨床心理士によるこころの相談 (H30より内容変更)	毎週土曜日	48	35	42	48	29	30	48	24	24
小計			131	154		136	151		121	132
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談	月～金曜日		186	343		188	327		123	196
合計			317	497		324	478		244	328

イ 電話相談

相談名	開催日	平成28年度			平成29年度			平成30年度（1月末）		
		実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談	月～金曜日		1,598	4,137		1,493	4,647		1,553	4,370

2. 普及啓発・教育研修

平成30年度

1 市民向けの講演会等

ア 記念講演会

新潟県精神保健福祉協会新潟市支部と共催

【テーマ】「思春期にみられるこころの問題とその理解」

【講師】新潟大学人文社会・教育学系教育学部 准教授 田中恒彦氏

【参加者数】 82人

イ 市民講座

新潟県精神保健福祉協会新潟市支部と共催で、2回開催

<第1回>

【講演会】「摂食障害という病気について」

【講師】南浜病院 副院長 川嶋義章氏

【参加者数】 70人

<第2回>

【講演会】「安心して‘依存’を語れる社会をめざして」

【講師】ささえ愛よろずクリニック 院長 今村達弥氏

【参加者数】 94人

ウ 出前講座

17回実施し、延782人が参加。(H31年2月末現在)

エ 新潟青陵大学学園祭への参加

- ・ブースを設置し、アルコールパッチテストを実施。延300人参加。
- ・依存症関連ポスター掲示、パンフレットを配布。
- ・適正飲酒の理解を深めるため、アルコール含有量が表示されているアルコール飲料のサンプルの展示。

2 精神障がい者（家族）に対する教室等

ア アルコール・薬物依存症の家族教室

- ・「3. 依存症対策」(6P)に掲載

イ 薬物依存治療・回復プログラム

- ・「3. 依存症対策」(6P)に掲載

3 支援者に対する教育研修

ア 精神保健福祉業務基礎研修

年2回開催

<第1回>

【内容】精神疾患の基礎知識，精神保健福祉の法律と施策について，
相談面接の基礎知識とセルフケア

【講師】こころの健康センター職員，職員課職員

【参加者数】 81人

<第2回>

【テーマ】「事例検討の方法について」

【講師】一般社団法人 ソラティオ 代表理事 岡部 正文 氏

【参加者数】 32人

イ 精神保健福祉業務専門研修

年2回開催

<第1回>

【テーマ】「依存症の家族支援」

【講師】国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室長
近藤 あゆみ 氏

【参加者数】 61人

<第2回>

【テーマ】「メンタルヘルスの基礎知識～パーソナリティ障害と関連疾患について」

【講師】こころの健康センター 所長 福島 昇

【参加者数】 78人

ウ 新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修

新潟県新潟地域振興局との共催で、年1回開催

【内容】講義「高次脳機能障害者の基礎知識とより良い支援の在り方を考える
～社会的行動障害への対応を中心に～」

【講師】新潟リハビリテーション大学医療学リハビリテーション科
作業療法学専攻 講師 北上 守俊 氏

【参加者数】 31人

3. 依存症対策

1 相談支援

専門相談として、アルコール問題に関する「酒害相談」を月2回実施。平成29年度からは名称を「依存症相談」と変更し、アルコール問題に限らず、薬物やギャンブルなどの依存に関する相談も対応していることをわかりやすく周知している。

依存症相談件数（旧「酒害相談」）開催日：第1・3月曜日 ※30年度1月末現在

平成28年度		平成29年度		平成30年度	
実	延	実	延	実	延
11	11	15	20	15	15

依存症関連問題のある相談件数（全来所相談の集計）

依存症種別	28年度		29年度		30年度	
	実	延	実	延	実	延
アルコール	5	14	21	36	20	28
薬物依存（カフェイン等含）	8	20	8	14	4	10
ギャンブル	3	5	8	10	3	4
摂食障害	6	14	6	10	1	1
性的（盗撮，痴漢等）			1	1	4	4
ニコチン						
ネット・スマホ・ゲーム	2	6	4	8	7	12
買物・浪費	1	1	5	5		
盗癖			2	8		
占い			1	1		
合計	25	60	56	93	39	59
来所相談総数	317	497	317	471	244	328
割合	8%	12%	18%	20%	16%	18%

※注：複数の依存がある場合は重複計上

2 普及啓発・教育研修

29年度までは、新潟市民健康福祉まつりの参加で、普及啓発事業をおこなっていたが、新潟市民健康福祉まつり廃止により、30年度は、青陵大学学園祭へ参加し、ブースを設置し、依存症関連のポスター掲示、アルコールパッチテストとパンフレット配布を実施した。

参加者延人数（パッチテスト配布数）

平成28年度	平成29年度	平成30年度
587人	620人	300人

3 アルコール・薬物依存症の家族教室

平成26年度より開催し、平成27年度からは、新潟県と共催。また、平成27年度からは、依存症の家族教室に参加した人を対象とした交流会を年1回開催。

内容：テキスト「薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム」（作成 近藤あゆみ 他）を使用し、依存症の知識、接し方などを学ぶ。

講師：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

診断治療開発研究室長 近藤 あゆみ 氏

新潟県薬物依存症者家族会の世話人 小西 憲 氏

小西 美代子 氏

家族教室（全5回）参加者数（交流会除く）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
家族数（実人数）	11組（14人）	7組（9人）	6組（9人）
延べ人数	49人	28人	33人

4 薬物依存治療・回復プログラム

平成28年度より、新潟県と共催実施。新潟ダルク責任者より進行補助として従事してもらっている。依存対象は、覚せい剤、LSD、シンナー、ヘロイン、危険ドラッグ、処方薬、市販薬、コカイン、アルコールと多様であった。依存対象が複数ある方が多い。

内容：テキスト「SMARPP（スマープ）24」（作成 国立精神神経医療研究センター松本俊彦ら）をもとに、依存症の知識、自身の引き金と欲求、再発予防など、依存症からの回復のための対処方法を学ぶ。

対象：平成28年度は、新潟ダルク入寮者と保護観察所からの紹介者のみと限定して行った。

29年度は、一般からの申込みも対象に広げた。

参加者数

	平成29年度（全7回）	平成30年度（6回／全7回）
延人数（実人数）	54人（9人）	23人（4人）

5 他機関との連携

- ・薬物依存症支援について、他機関との情報交換の場（はばたきネット）への出席。
- ・新潟保護観察所との刑の一部執行猶予制度に伴う「地域支援ガイドライン」を平成27年度中に新潟保護観察所及び新潟県と作成し、平成28年度7月の「薬物事犯者等地域支援連絡協議会」にて発出。保護観察所の連絡協議会，研修等の参加。
- ・新潟県薬物依存症者家族会，ダルク主催の「新潟県薬物依存症フォーラム」にパネリストとして参加（平成27年度3月，平成29年度3月参加）。
- ・新潟ダルクが、平成30年11月1日に、新潟市内（南区）に開設。

4. 精神医療審査会・判定会議

1 精神医療審査会 審査実績 ※平成30年度実績は1月末現在の実績

ア 開催状況

	合議体		総会	
	回数	出席委員	回数	出席委員
29年度	18	81	1	12
30年度(4月～1月)	15	73	1	10

イ 退院等請求審査

区分	前年度繰越	請求件数	審査件数	審査結果				意見聴取件数	取り下げ件数	退院等審査要件の消失	次年度繰越	平均処理日数	
				現在の入院形態による入院又は処遇は適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院又は処遇は不適当						
退院請求	29年度	2	54	32	32	0	0	0	30	14	7	5	29.6
	30年度	5	27	23	23	0	0	0	18	5	4		33.6
処遇改善請求	29年度	0	21	12	12	/	/	0	11	5	4	1	27.7
	30年度	1	9	5	5	/	/		4	2	3		40.8
合計	29年度	2	75	44	44	0	0	0	41	19	11	6	29.1
				(2.4)						39.0%			
合計	30年度	6	36	28	28	0	0	0	22	7	7	0	34.9
				(1.9)						33.3%			

注1)30年度は4月～1月実績。 下段()は1回あたりの審査件数。

注2)6ヶ月以内の複数回請求：審査後、意見聴取実施せず 29年度：3件(退院：2件、処遇：1件)、30年度：4件(退院：3件、処遇：1件)

ウ 請求を受理してから審査結果を通知するまでの期間

年度	区分	日数別の件数					合計	平均
		30日以内	31日以上～40日以内	41日以上～60日以内	61日以上～90日以内	91日以上		
29年度	退院請求	22件	6件	3件	1件	0件	32件	29.6日
	処遇改善請求	9件	1件	2件	0件	0件	12件	27.7日
30年度	退院請求	8件	8件	7件	0件	0件	23件	33.6日
	処遇改善請求	0件	2件	3件	0件	0件	5件	40.8日

エ 書類審査

単位：件

区分	審査 件数	(うち、 審査継 続件数)	審査結果					実地審 査件数	意見 聴取 件数	審査 継続中
			現在の入 院形態に よる入院 は適当	他の入院 形態への 移行が適 当	病状等に ついて報 告を求め ることが 適当	入院継続 又は処遇 内容は不 適当				
医療保護 入院届	29年度	1,415	60	1,415	0	0	0	0	0	
	30年度	1,276	48	1,276	0	0	0	0	0	1
定期病 状報告	措置	29年度	3	3	0	0	0	0	0	
		30年度	4	3	4	0	0	0	0	1
	医療 保護	29年度	1,347	36	1,347	0	0	0	0	0
		30年度	1,155	35	1,155	0	0	0	0	0
合計	29年度	2,765 (153.6)	96 (5.3)	2,765	0	0	0	0	0	0
	30年度	2,435 (162.3)	86 (5.7)	2,435	0	0	0	0	0	2

注1) 30年度は4月～1月実績。()は1回あたりの審査件数。
注2) 30年度審査結果件数は、現在審査継続中の案件を除いている。

オ 審査実績年次推移

単位：件

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度 (1月末)
審査会開催回数	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	15
退院等請求審査件数	37	22	33	28	33	42	38	54	54	64	54	26
入院届審査件数	1,276	1,349	1,273	1,238	1,263	1,192	1,307	1,482	1,442	1,569	1,415	1,276
定期病状報告書審査件数	1,333	1,349	1,380	1,369	1,412	1,473	1,412	1,407	1,356	1,352	1,350	1,159

カ 退院等請求相談電話の受理状況

単位：件

	件数	内訳		
		入院者本人	家族等	その他
29年度	251	246	3	2
30年度(4月～1月)	155	130	8	17

2 判定会議 判定実績(精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療費)

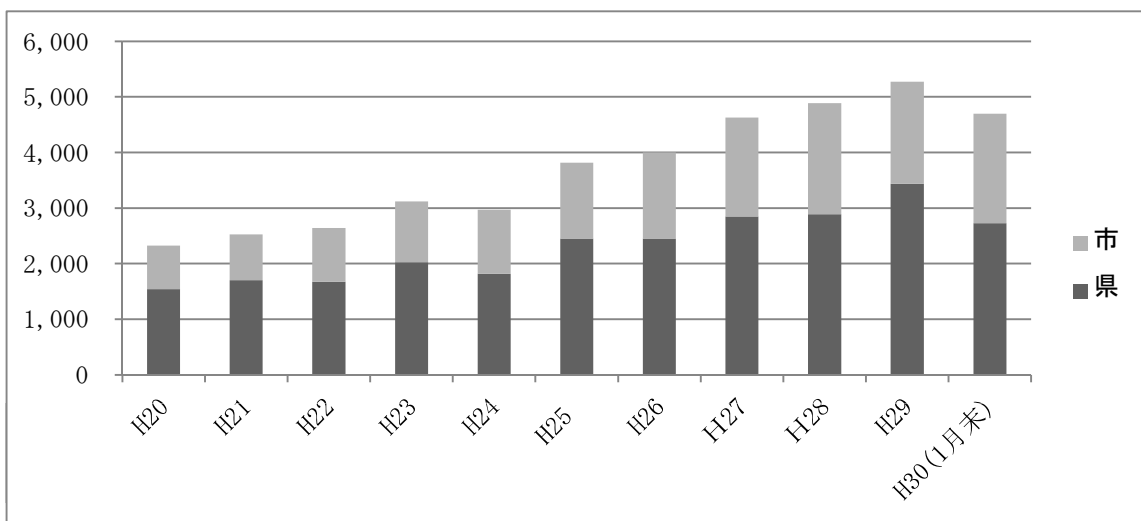
ア 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療の判定医体制

- ・判定医体制 6名
- ・判定会議開催回数

毎月2回開催，年間24回開催。平成19年度から県と市で共同開催。

イ 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療実績

精神障害者保健福祉手帳判定件数



※平成30年度は4月から1月までの数字

平成30年度 精神障害者保健福祉手帳判定結果 単位：件

適			非該当	判定不能	
内訳	1820			15	2
	1級	2級	3級	/	/
	147	1,554	119		

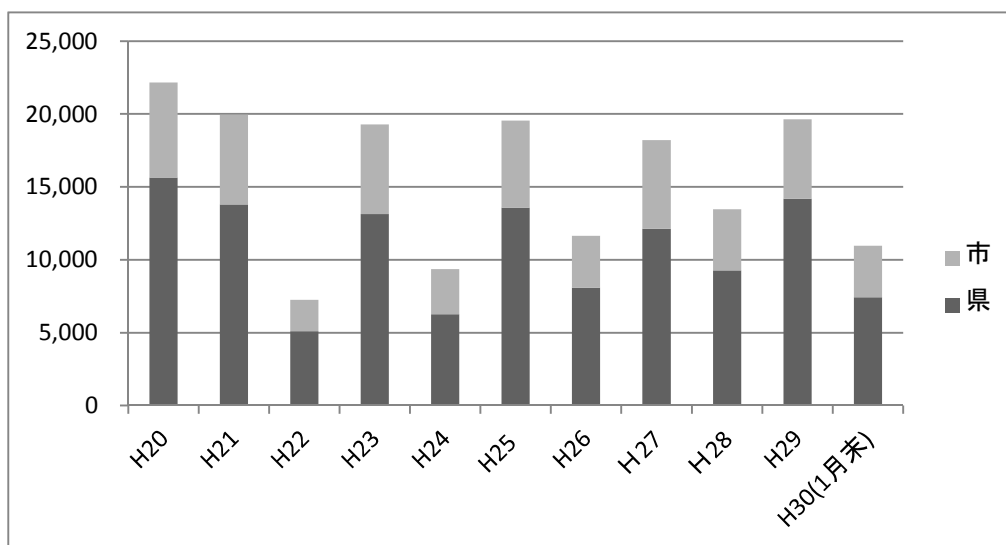
※平成30年4月から平成31年1月までの新潟市分の判定結果。

1枚の診断書を複数回判定する場合があるため，判定件数と判定結果は一致しない。

精神障害者保健福祉手帳の年次推移

	総数	1級	2級	3級
平成28年度	5582	721	4467	394
平成29年度	5911	672	4782	457
平成30年度 (H30.4月～H31.1)	6556	748	5356	452
平成30年度(見込み) ※1÷10ヶ月×12ヶ月	7867	898	6427	542

自立支援医療（精神通院医療）、通院医療費公費負担判定件数



※平成30年度は4月から1月までの数字

判定件数の急増、急減は診断書更新期間の変更によるもの。

平成17年度までは2年に1回であったが、18年度から21年度は1年に1回となり、22年度からは2年に1回に戻った。

平成30年度自立支援医療（精神通院医療）判定結果 単位：件

適	非該当	判定不能
3482	6	0

※平成30年4月から平成31年1月までの新潟市分の判定結果。

1枚の診断書を複数回判定する場合があるため、判定件数と判定結果は一致しない。

自立支援医療（通院医療公費負担制度）利用者数

	総数
平成28年度	11636
平成29年度	11575
平成30年度 (H30.4月～H31.1)	12321 ※1
平成30年度（見込み） ※1÷10ヶ月×12ヶ月	14785

5. 新潟市ひきこもり相談支援センター

1 事業趣旨

新潟市におけるひきこもりの支援を推進し、その長期化を防ぐため、ひきこもりに関する総合的な窓口として「新潟市ひきこもり相談支援センター」を設置する。

2 開始日 平成23年8月1日

3 開設日時 火曜日～土曜日 9時～18時

4 運営形態 「ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟」に事業を委託

5 設置場所

新潟市万代市民会館5階（中央区東万代町9-1）

地域教育推進課が所管する「新潟市若者支援センター オール」と同フロアに開設

6 活動内容

- ・相談支援（電話、面接、メール等）
- ・アウトリーチ（訪問支援）
- ・各種プログラム（居場所、就労前体験、保護者会など）
- ・ひきこもり支援連絡会の開催
- ・情報発信、普及啓発

7 職員体制

- ・H23年度：事業責任者1名、支援コーディネーター2名（常勤職員1名、非常勤職員1名）
うち有資格者2人（精神保健福祉士、社会福祉士）
- ・H24年度：事業責任者1名、支援コーディネーター2名（常勤職員1名、非常勤職員1名）
うち有資格者1人（社会福祉士）
- ・H25年度：事業責任者兼支援コーディネーター1名（常勤職員）
支援コーディネーター3名（常勤職員2名、非常勤職員1名）
うち有資格者1人（精神保健福祉士、社会福祉士）
- ・H26年度：有資格者が2名（精神保健福祉士と社会福祉士1、社会福祉士1）
- ・H29年度：有資格者が1名（社会福祉士1）、非常勤を含め5人体制
- ・H30年度：有資格者が1名（社会福祉士1）、非常勤を含め4人体制

8 事業実績

ア 相談・訪問件数

	相談延べ件数					相談者の内訳			訪問件数	
	電話	面談	メール	所外	相談計	本人	保護者	その他	実	延
H28年度(4～3月)	422	839	8	51	1320	618	497	205	76	430
H29年度(4～3月)	510	729	22	33	1294	544	615	135	76	354
H30年度(4～1月)	487	829	60	36	1412	702	587	123	80	372

イ 居場所等プログラム

	開催回数	参加者内訳		
		本人	保護者	合計人数
H28年度(4～3月)	64	406	59	465
H29年度(4～3月)	68	355	41	396
H30年度(4～1月)	76	497	35	540

ウ 新潟市ひきこもり相談支援センター支援連絡会

・目的

新潟市ひきこもり相談支援センター事業実施要綱第4条(4)に基づき、本市におけるひきこもり支援に関する課題の整理や情報交換、事例検討等を行い、各機関による恒常的な連携を確保するため、医療・保健・福祉・教育・労働等の関係機関からなる「新潟市ひきこもり支援連絡会」を設置する。

・構成員

ひきこもり・サポートネットにいがた、NPO法人KHJにいがた「秋桜の会」
NPO法人 にいがた若者自立支援ネットワーク伴走舎、
新潟地域若者サポートステーション、
新潟青陵大学 不登校・ひきこもり研究会、新潟翠江高校
新潟県ひきこもり相談支援センター、新潟市発達障害支援センター JOIN、
新潟市(各区健康福祉課、障がい福祉課、若者支援センター、教育相談センター、明鏡高校、
こころの健康センター)、新潟市ひきこもり相談支援センター

・開催日 平成30年7月19日

・会場 新潟市総合保健医療センター

・内容 新潟市ひきこもり相談支援センター事業実績報告
事例紹介・意見交換

・参加人数 27人(うち事務局5人)

6. 精神科救急医療対策事業

1 精神科救急医療システムの実績（休日昼間）

ア 対応件数実績 年次推移

		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 10 月末
電話 のみ	新潟ブロック	42	77	104	169	222	93
	新潟市民 再掲	31	62	72	120	156	68
	新潟市民 利用率	73.8%	80.5%	69.2%	71.0%	70.3%	73.1%
	県全体	381	562	607	658	763	422
	新潟市民 利用率	8.1%	11.0%	11.9%	18.2%	20.4%	16.1%
来院	新潟ブロック	96	103	108	138	108	71
	新潟市民 再掲	87	85	88	115	82	60
	新潟市民 利用率	90.6%	82.5%	81.5%	83.3%	75.9%	84.5%
	県全体	315	330	314	327	308	194
	新潟市民 利用率	27.6%	25.8%	28.0%	35.2%	26.6%	30.9%
計	新潟ブロック	138	180	212	307	330	164
	新潟市民 再掲	118	147	160	235	238	128
	新潟市民 利用率	85.5%	81.7%	75.5%	76.5%	72.1%	78.0%
	県全体	696	862	921	985	1,071	616
	新潟市民 利用率	17.0%	17.1%	17.4%	23.9%	22.2%	20.8%

イ 平成 30 年度 システム稼働状況(10 月末まで)

	当番日数	稼働日数	稼働率	総対応数	稼働 1 日あたりの対応件数
新潟ブロック実績 (佐渡ブロック除)	69 日	54 日	78.2%	164 件	3.0 件
県全体 5 ブロック合計	371 日	220 日	59.2%	616 件	2.8 件

※稼働日数とは、当番日数のうち電話や来院のあった日をいう。

2 精神科救急医療システムの実績（夜間）

ア 対応件数実績 年次推移

		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 10 月末
電話 のみ	北圏域	160	294	269	872	1,198	702
	新潟市民 再掲	64	166	149	688	947	507
	県全体	633	843	969	1,764	2,037	1,191
来院	北圏域	100	164	166	231	190	107
	新潟市民 再掲	70	124	118	171	144	74
	県全体	248	333	316	404	343	191
計	北圏域	260	458	435	1,103	1,388	809
	新潟市民 再掲	134	290	267	859	1,091	581
	県全体	881	1,176	1,285	2,168	2,380	1,382
北圏域における新潟 市民利用率		51.5%	63.3%	61.4%	77.9%	78.6%	71.8%

※平成 25 年度までは夜間部分 2 ブロック，平成 26 年度からは夜間完全 2 ブロックとなった。

イ 平成 30 年度 システム稼働状況(10 月末まで)

	当番日数	稼働日数	稼働率	総対応数	稼働 1 日あた りの対応件数
北圏域	214 日	169 日	78.9%	809 件	4.8 件
県全体 2 圏域合計	428 日	337 日	78.6%	1,382 件	4.1 件

※稼働日数とは，当番日数のうち電話や来院のあった日をいう。

3 精神科救急情報センター対応状況

消防や警察等からの要請を受け、救急患者のトリアージ、入院先の調整、外来受診、入院可能な医療機関の紹介を行う。

開設時期 平成26年3月31日

利用対象 消防や警察など専門機関のみが利用可能

開設時間 平日夜間：17時～翌日8時30分，休日：24時間

ア 対応件数実績 年次推移

	H28年度	H29年度	H30年度（10月末）
新潟市民	63件（47%）	74件（63%）	38件（57%）
新潟市民以外	50件（37%）	22件（19%）	14件（21%）
不明	22件（16%）	21件（18%）	15件（22%）
県全体合計	135件	117件	67件

イ 利用機関及び件数 年次推移

	H28年度	H29年度	H30年度（10月末）
救急隊	115件	93件	48件
警察	3件	3件	3件
病院	13件	11件	6件
クリニック	2件	1件	1件
その他	3件	9件	9件

ウ 対応結果

	H28年度	H29年度	H30年度（10月末）
精神科救急病院受診	59件	36件	23件
一般救急病院受診	15件	13件	7件
当番病院以外の精神科病院受診	16件	5件	10件
警察通報助言	2件	2件	0件
消防通報助言	0件	0件	1件
その他（不搬送、不明など）	44件	61件	26件

4 精神医療相談窓口対応状況

緊急に精神科医療が必要な方から相談を受け、助言を行い、受診可能な医療機関を紹介する。

開設時期 平成27年3月2日

利用対象 緊急に精神科医療を必要とする患者及び家族

開設時間 24時間

ア 対応件数実績 年次推移

	H28年度	H29年度	H30年度(10月末)
新潟市民	513件(34%)	490件(34%)	237件(29%)
新潟市民以外	639件(43%)	376件(26%)	306件(37%)
不明	352件(23%)	582件(40%)	275件(34%)
県全体合計	1,504件	1,448件	818件

イ 相談者治療歴 年次推移

	H28年度	H29年度	H30年度(10月末)
現在治療中	807件	896件	447件
治療歴あり	186件	123件	80件
治療歴なし	292件	261件	165件

ウ 相談時間帯

平日	H28年度	H29年度	H30年度(10月末)
0～7時	287件	210件	106件
8～12時	200件	161件	103件
13～16時	159件	164件	92件
17～23時	350件	408件	239件
休日	H28年度	H29年度	H30年度(10月末)
0～7時	123件	89件	43件
8～12時	116件	121件	64件
13～16時	118件	113件	74件
17～23時	151件	182件	97件

エ 相談結果

	H28年度	H29年度	H30年度(10月末)
救急当番病院案内	214件	188件	101件
かかりつけ医への受診勧奨	352件	423件	211件
最寄りの医療機関案内	119件	113件	75件
精神科医療に関する助言	28件	67件	48件
通常精神科受診助言	28件	37件	23件
一般救急への受診勧奨	9件	22件	13件
他の相談機関案内	167件	148件	50件
傾聴, 不安の解消	248件	252件	145件
その他	200件	198件	152件

7. 措置入院

1 目的

精神障がいを起因とする「自傷他害」を及ぼすおそれがあると認められた精神障がい者を精神科病院に入院措置し、精神障がい者の医療及び保護を図る

2 実績

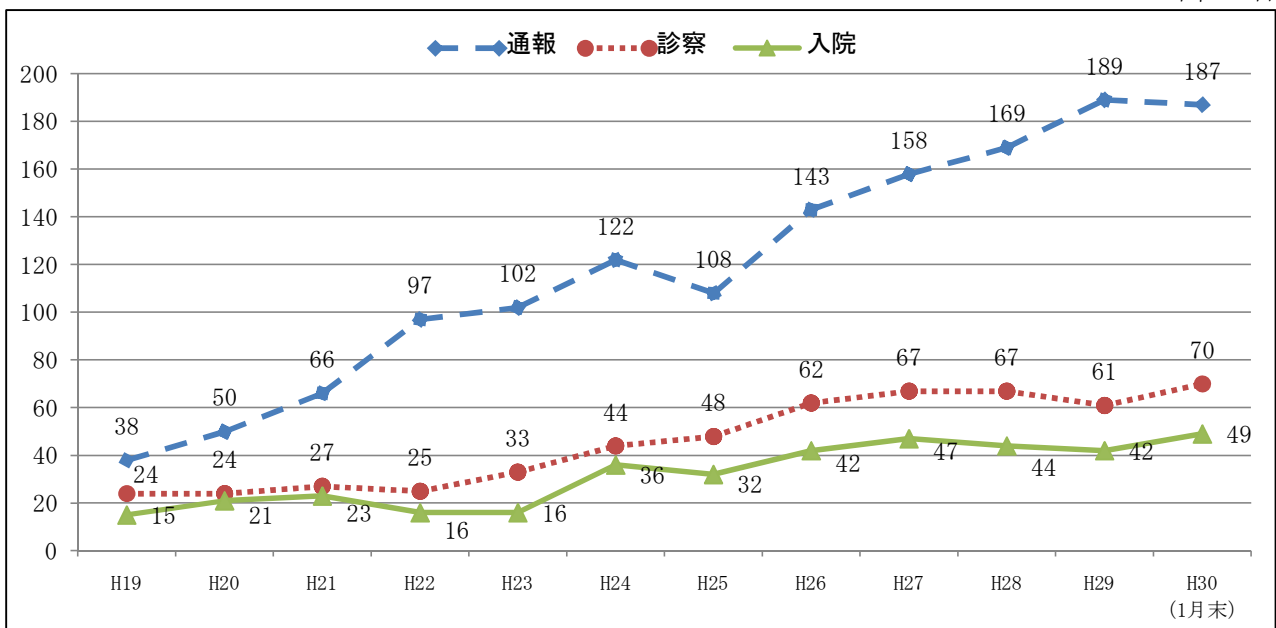
<措置通報等種別実績>

単位：件

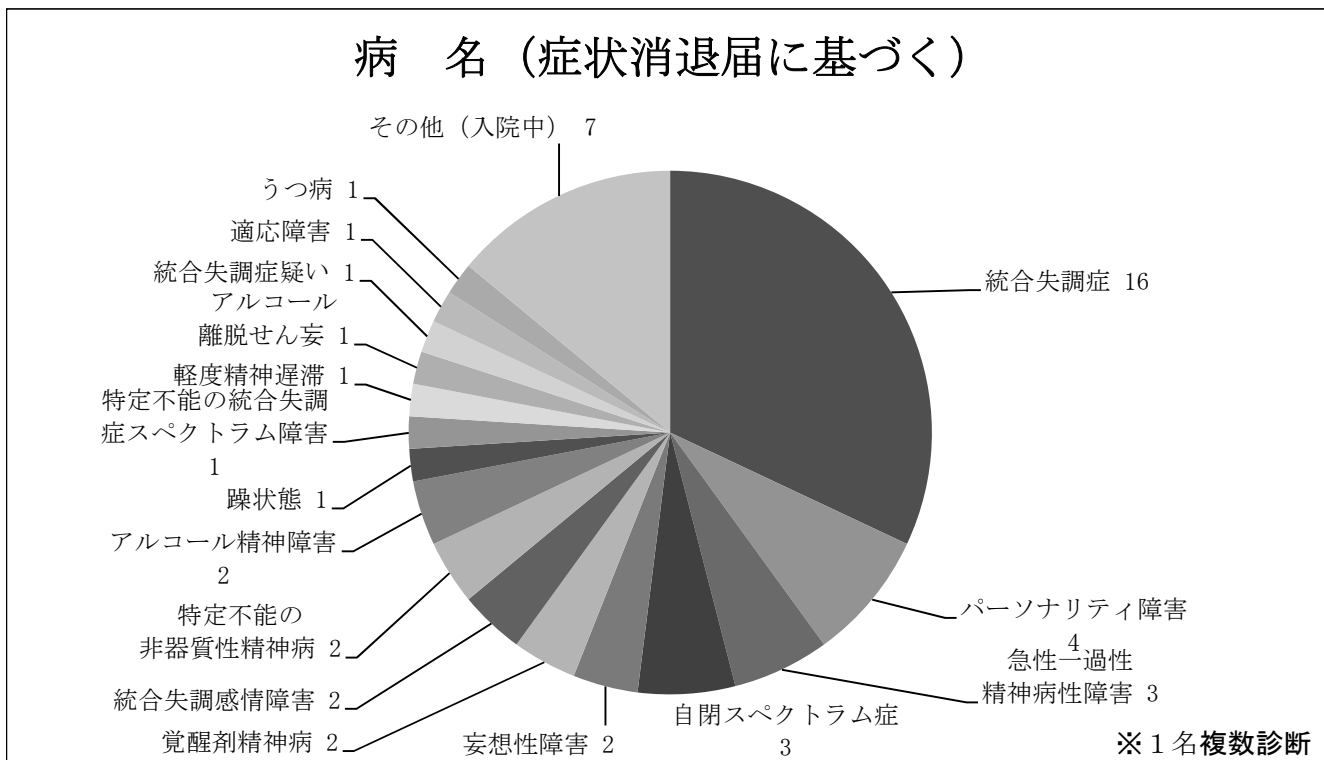
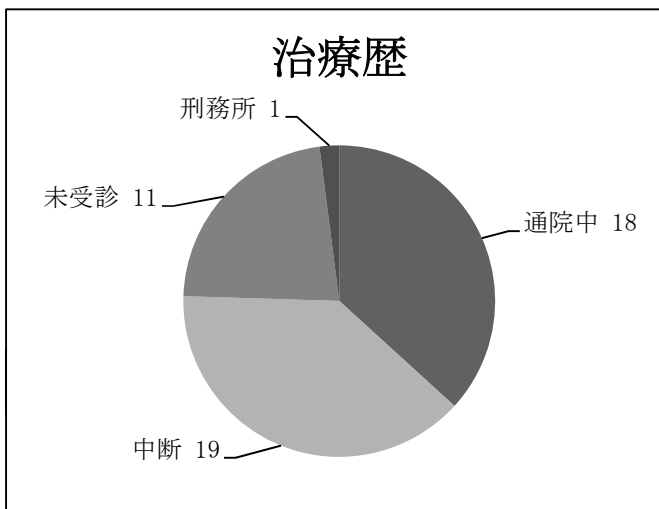
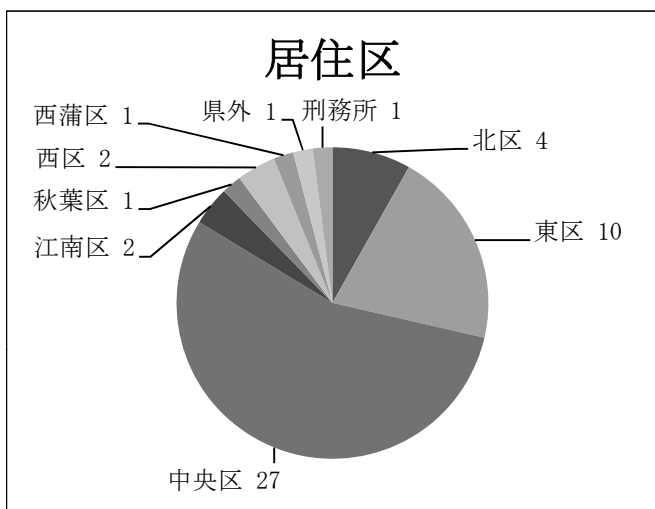
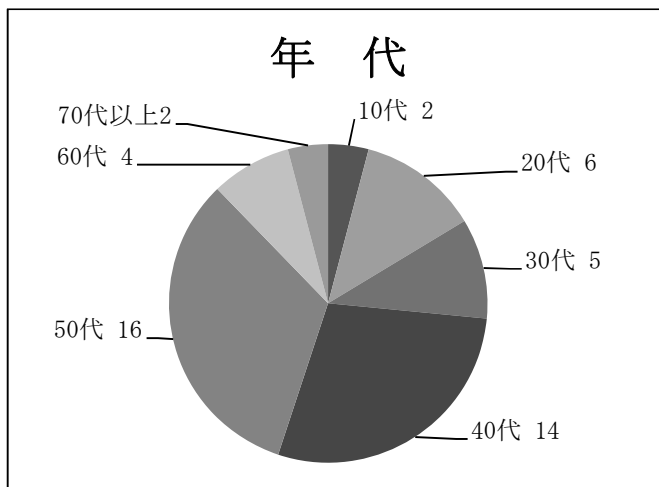
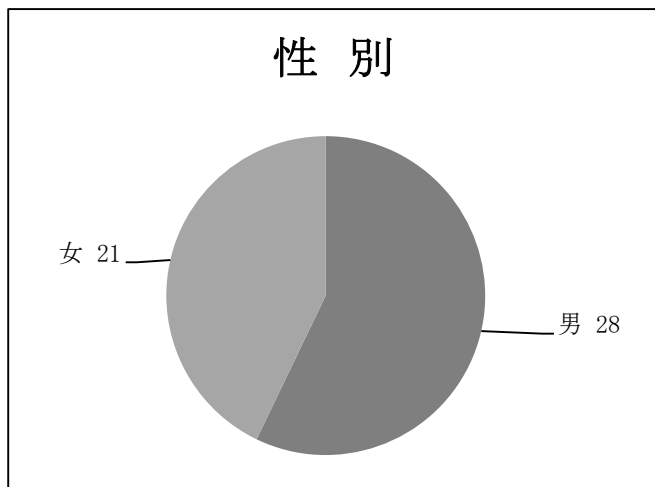
	平成28年度			平成29年度			平成30年度（1月末）		
	通報等 件数	診察 件数	措置 件数	通報等 件数	診察 件数	措置 件数	通報等 件数	診察 件数	措置 件数
一般人申請 (22条)	5	0	0	5	0	0	0	0	0
警察官通報 (23条)	59	51	37	60	47	33	84	62	43
検察官通報 (24条)	29	14	6	40	10	6	45	6	5
保護観察所長通 報 (25条)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設長通報 (26条)	76	2	1	84	4	3	58	2	1
合 計	169	67	44	189	61	42	187	70	49

<措置通報等件数経年推移>

単位：件

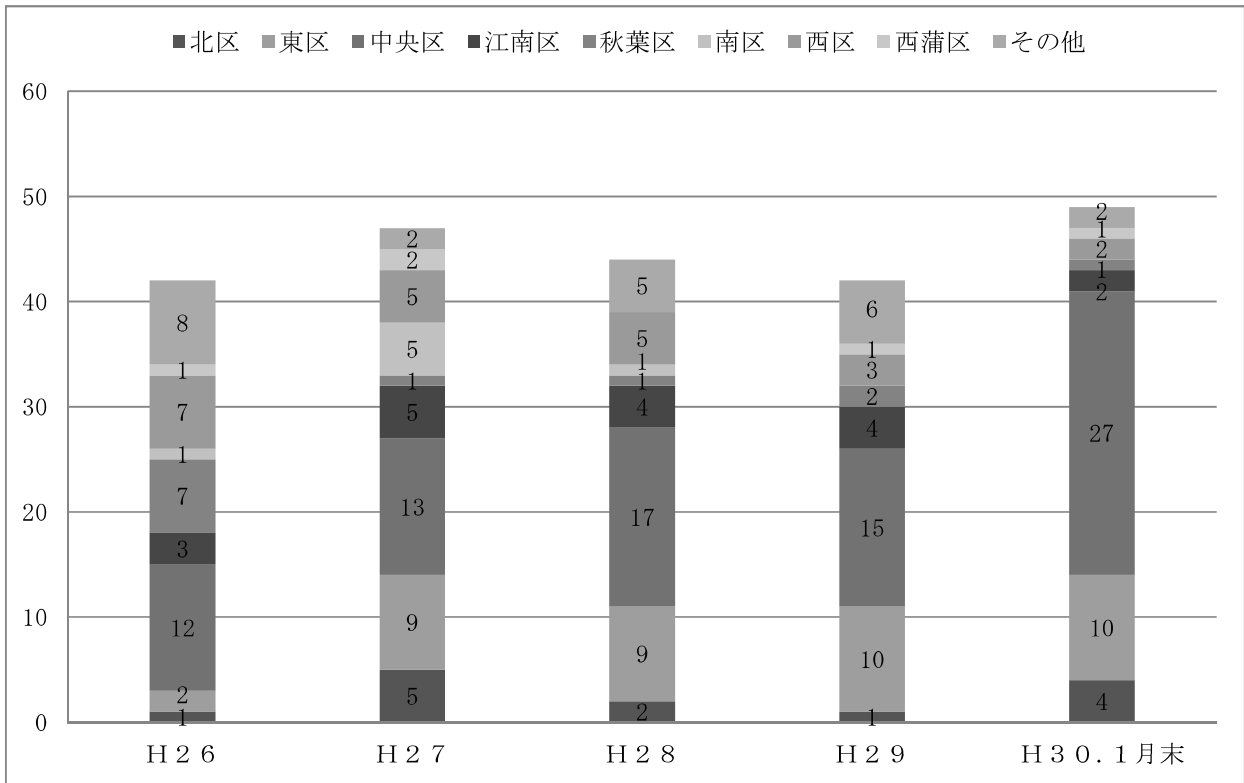


対応件数：49件（平成30年4月～平成31年1月末）

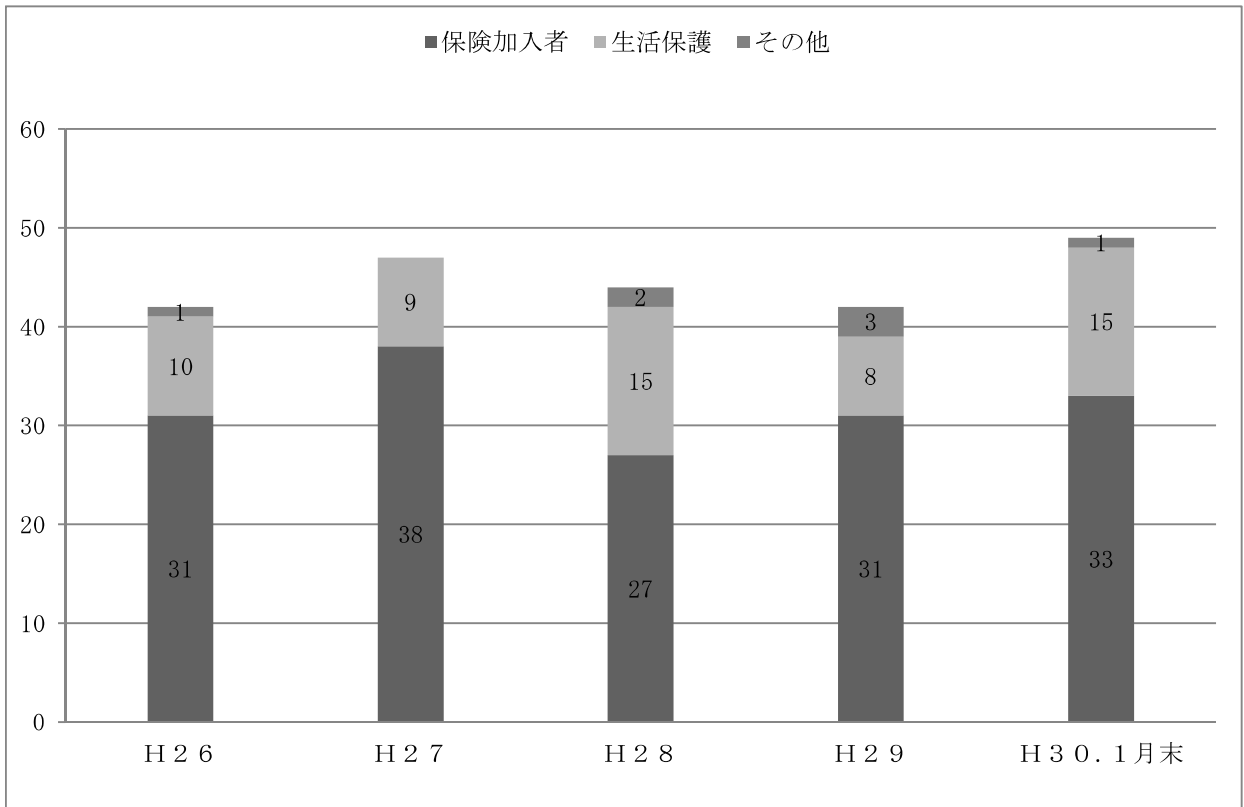


措置入院件数経年推移（通報時点の状況）

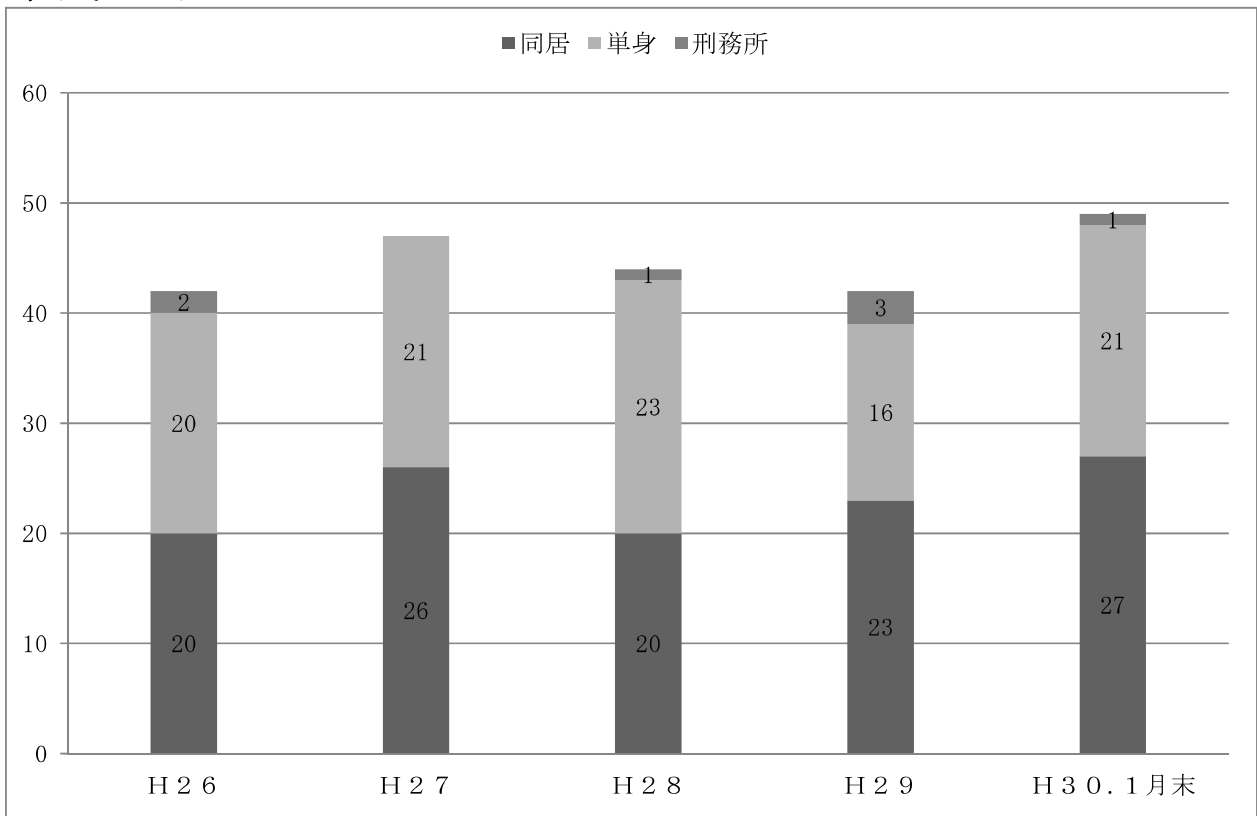
住所地別



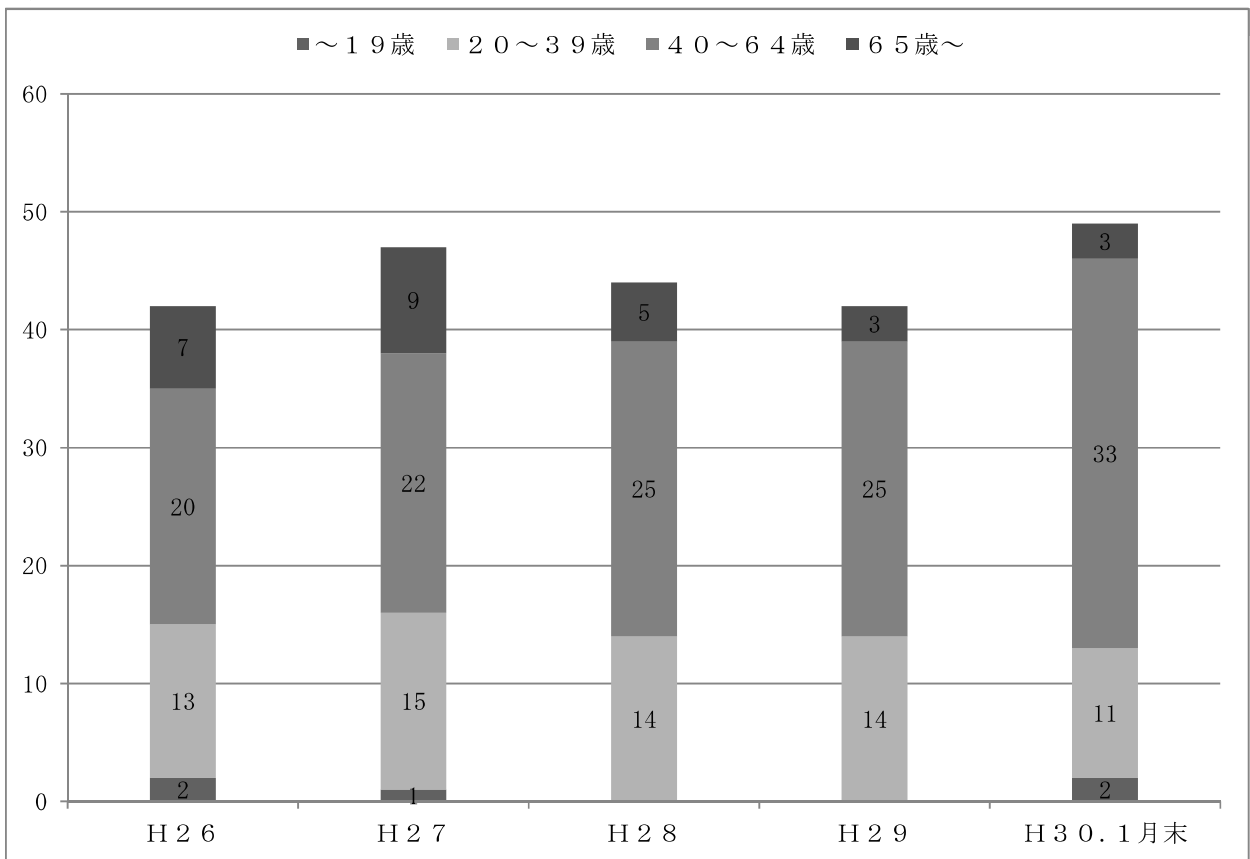
医療保険別



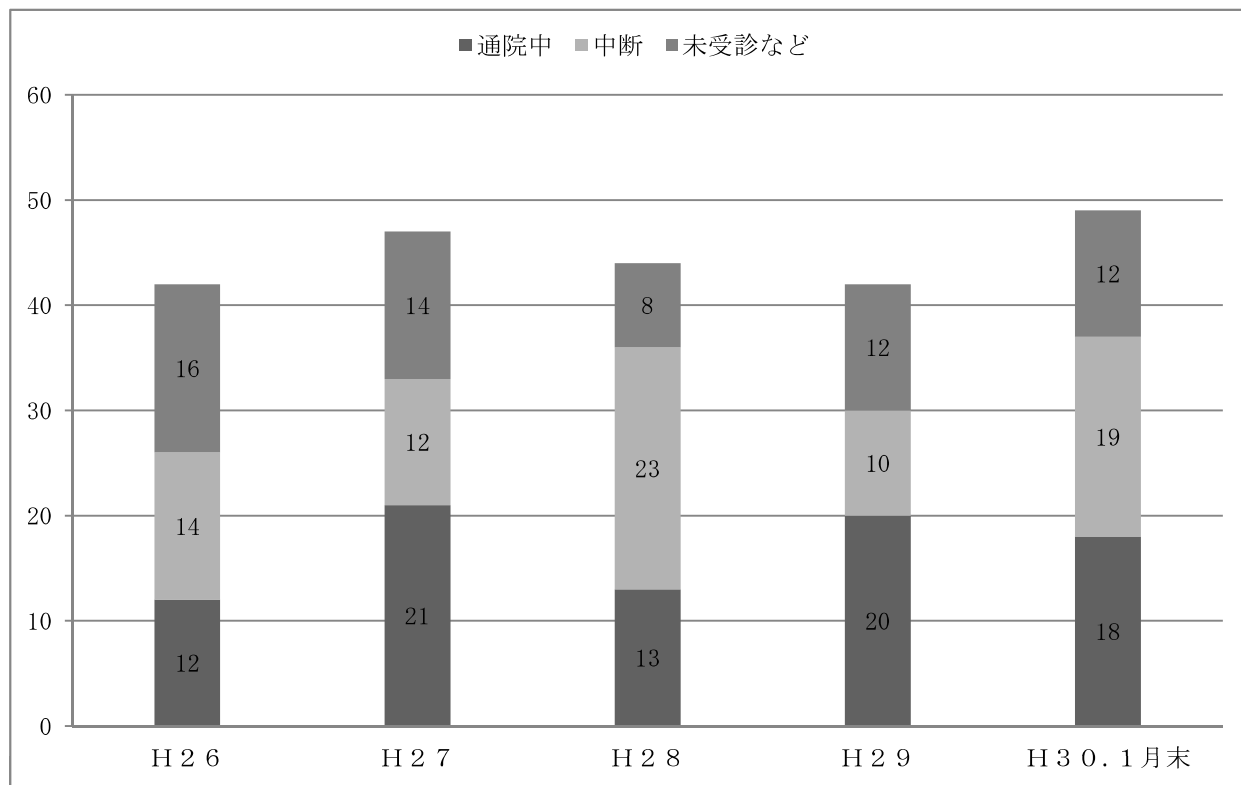
家族状況等別



年齢別

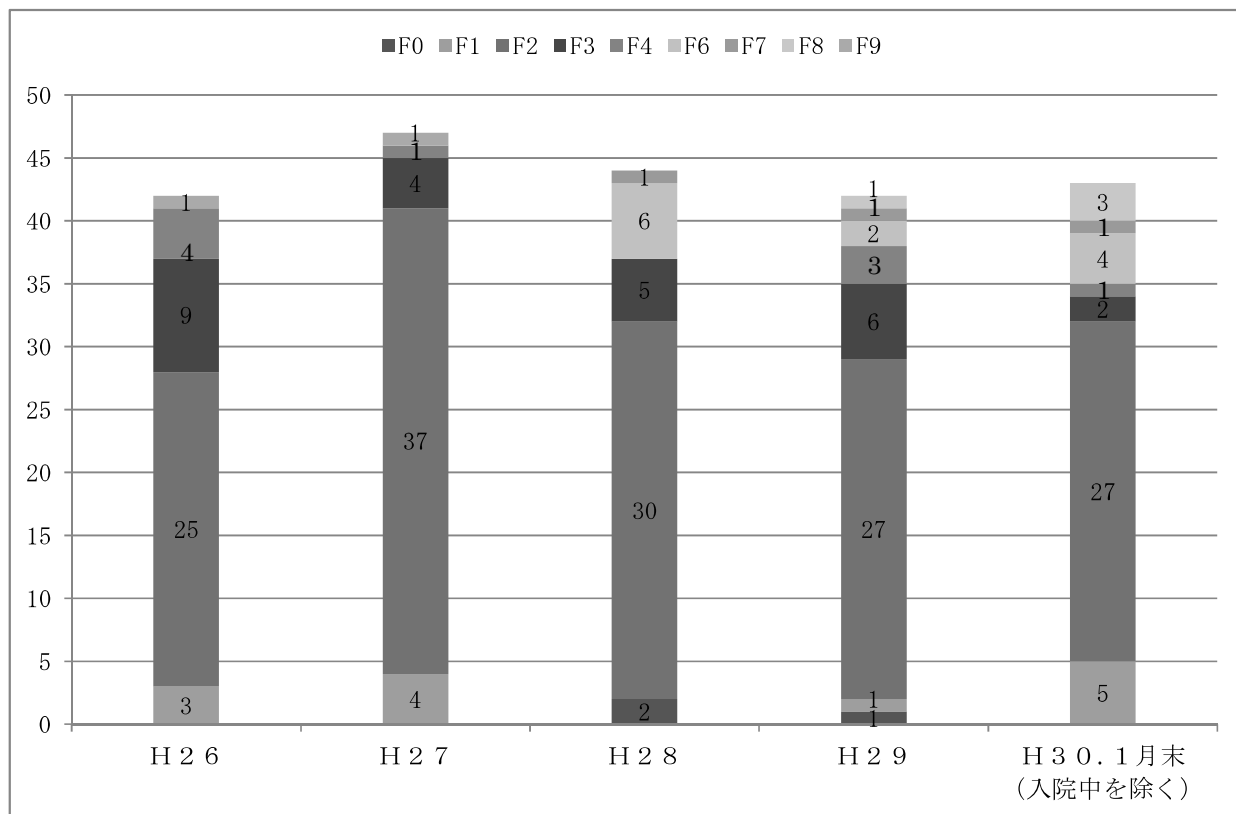


受診状況別



疾患別（症状消退届に基づく）

※平成30年度1名複数診断

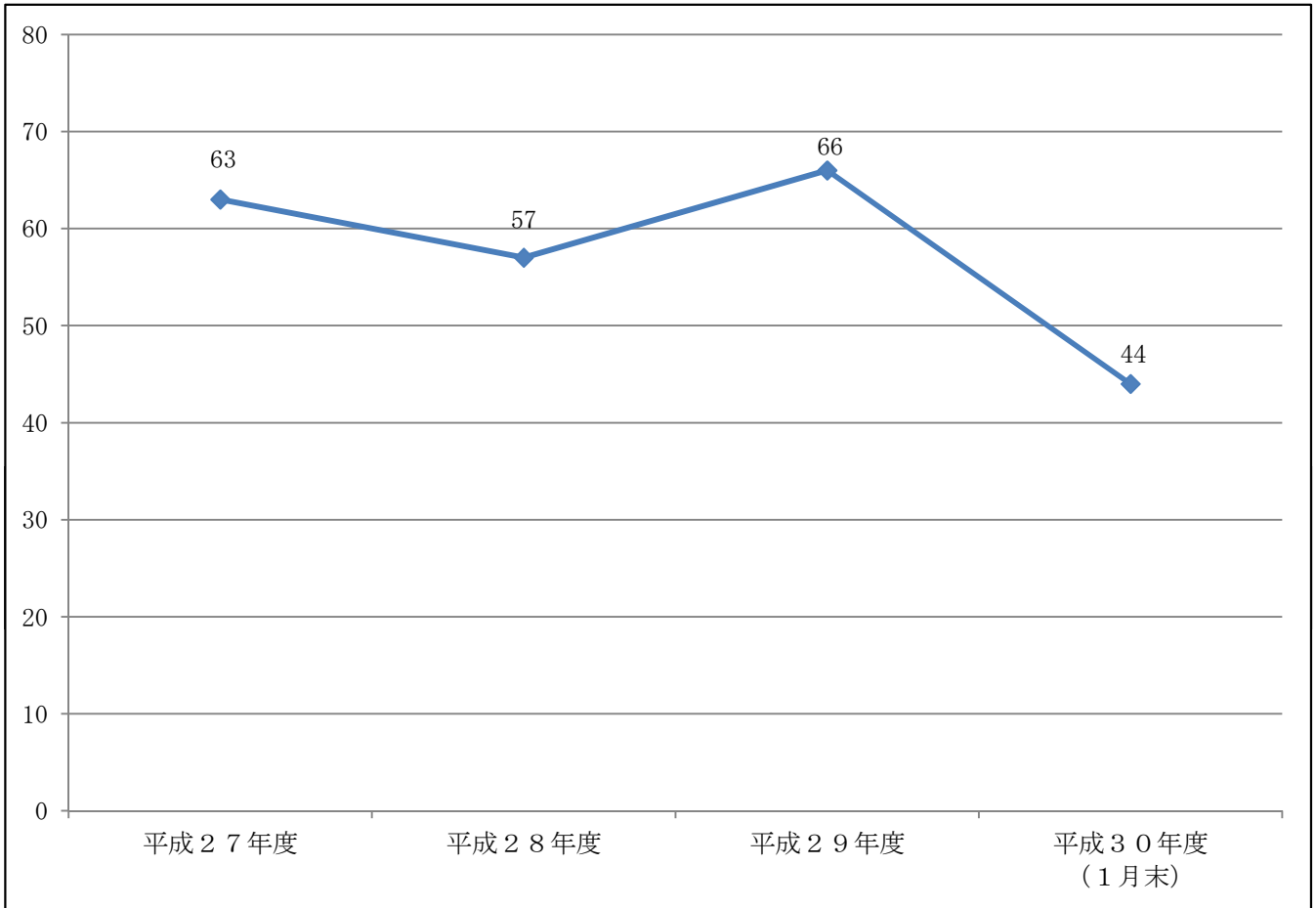


8. 受診勧奨

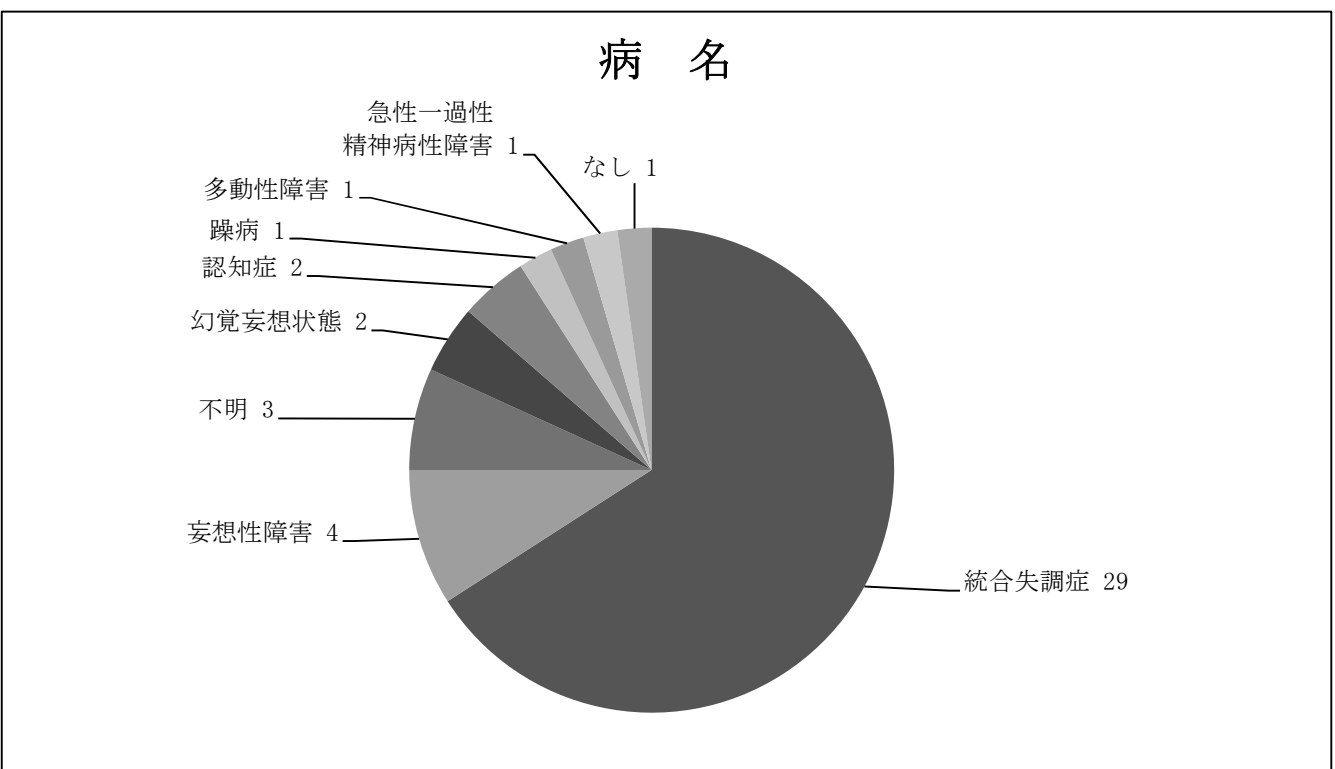
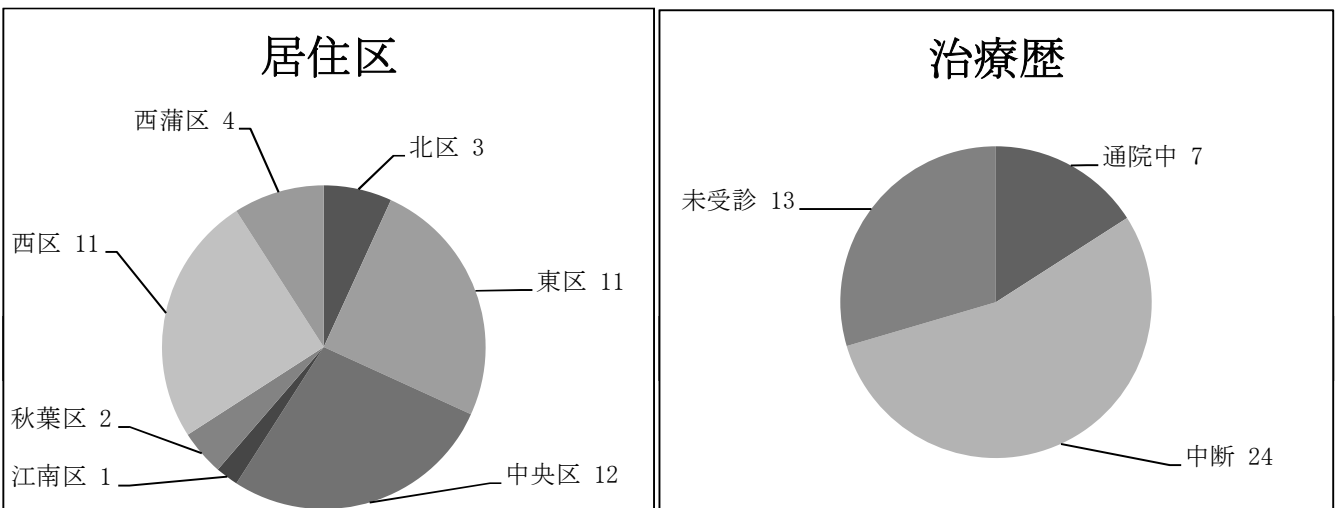
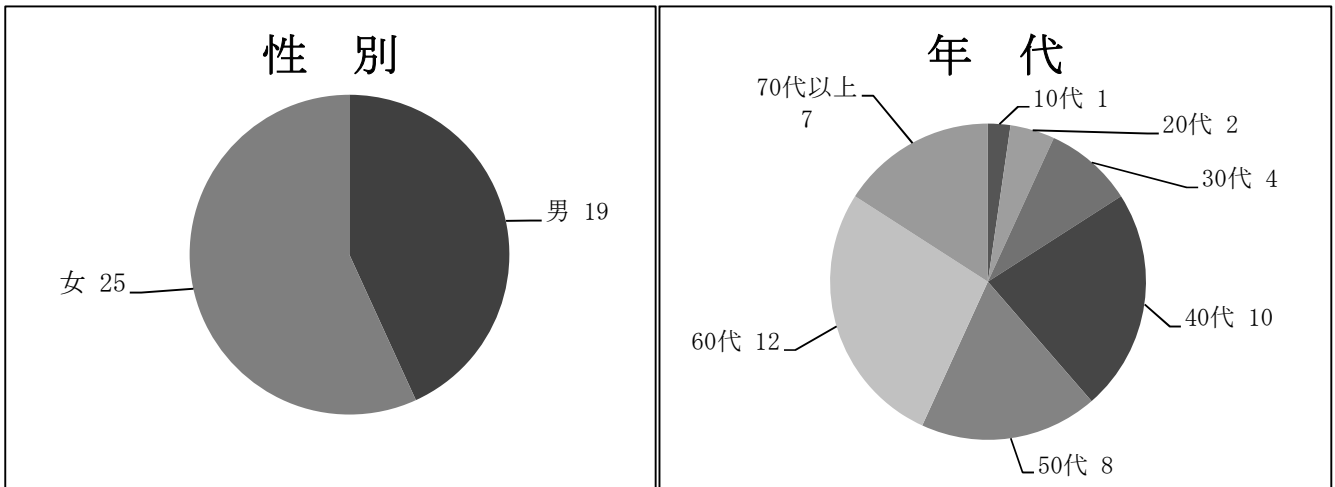
実績

<受診勧奨件数経年推移>

単位：件



対応件数：44件（平成30年4月～平成31年1月末）



9. 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業

平成30年度

1 事業目的

精神障がい者が、住み慣れた地域で、本人の望む充実した生活を営めるよう保健、医療、福祉等の関係機関の連携のもとで、入院患者の地域移行、並びに、精神障がい者が安定した地域生活を継続するための支援を推進する。

2 事業内容

ア 体制整備 精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会

【目的】 地域移行・地域定着をすすめるために、地域生活を支援する土壌をつくり、関係職員の人材育成と関係機関のネットワークの再構築を行う。

【運営方法】 官民協働、多職種で構成した運営委員により、連絡会の企画・運営を行う。

《委員構成》 8名で構成。精神科病院の看護師、精神保健福祉士、相談支援事業者の相談支援専門員、基幹相談支援センター相談員等

※運営委員会は6回開催（平成30年4月～平成31年1月末）

【対象者】 市内精神科病院職員、相談支援事業所職員、行政職員、その他

実施内容

	開催日	内 容	参加人数等
第1回	平成30年 4月25日	「精神科病院情報交換会」 精神障がい者の地域生活支援のためのネットワークづくりと人材育成を目的に開催した。 第1部 行政説明 「退院後支援マニュアル」について 第2部 情報交換・意見交換 ① P S W業務について ② その他	市内 8病院
第2回	平成30年 7月11日	「社会資源見学ツアー」 業務に生かせるよう、市内にある精神保健医療福祉に関する社会資源(精神科病院、居住・就労施設等)を見学した。 <Aコース>北区コース 参加者29名 <Bコース>中央区・西区コース 参加者35名	全2コース 64名
第3回	平成30年 12月21日	「地域移行・地域定着支援研修会」 精神障がい者の地域移行・地域定着支援に取り組むための人材育成と、顔の見える関係づくりを目的とし研修会を行った。 1 地域移行機能強化病棟について 2 当事者による体験談発表 3 講演「ピアのチカラ～ピアサポーターの活用で進める地域移行支援～」 4 グループワーク「高齢者の親を持つ当事者を支える地域づくり」	参加者 90名

イ ピアサポートの活用

【目 的】精神障がい者が自らの体験を語ることで、市民の精神障がいへの理解を深め、生活者としての信頼を得るとともに、精神障がい者が、支援される側から、支援者として効果的な資源になり得ることを目指す。

実施状況

実施区・病院	実施日	対象者	内容	参加者
白根緑ヶ丘病院	平成30年 10月18日	・白根緑ヶ丘病院職員 (医師, 看護師, 精神保健福祉士等)	体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・温もりハウス職員, 体験発表者(1名)	58名
佐潟荘	平成30年 11月8日	・佐潟荘職員(医師, 看護師, 精神保健福祉士等)	体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・あどばんず職員, 体験発表者(1名)	28名
西区	平成30年 11月22日	・自立支援協議会委員 ・関係機関(医療機関, 地域包括支援センター, 社会福祉協議会等)	1 講演 「精神疾患を理解する」 ・こころの健康センター所長 2 体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・梨の里職員, 体験発表者(1名)	21名
松浜病院	平成30年 11月28日	・入院, 外来患者 ・松浜病院職員(医師, 看護師, 臨床心理士等)	体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・あどばんず職員, 体験発表者(1名)	35名
北区	平成30年 12月19日	・自立支援協議会委員 ・関係機関(地域包括 支援センター, 基幹相 談支援センター, 行政 職員等)	1 講演 「精神疾患を理解する」 ・こころの健康センター所長 2 体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・南浜病院職員, 体験発表者(2名)	34名
河渡病院	平成31年 1月25日	・入院患者 ・河渡病院職員(精神 保健福祉士等)	体験談発表 「リカバリーストーリーを聴く」 ・あどばんず職員, 体験談発表(1名)	49名

10. 精神保健福祉関係事業歳出予算

【保健衛生部こころの健康センター】

(単位:千円)

事業名	平成30年度 当初予算額A	平成31年度 当初予算額B	差引(B-A)
こころの健康センター事業費	2,721	2,816	95
ひきこもり支援センター運営事業	16,000	16,148	148
精神科救急医療システム事業	28,103	29,088	985
精神医療事業費	28,824	33,211	4,387
精神障がい者地域移行・ 地域定着支援事業	234	190	▲ 44
自殺総合対策事業	32,212	32,397	185
その他	17,627	17,122	▲ 505
合計	125,721	130,972	5,251

【福祉部障がい福祉課】

(単位:千円)

事業名 ※三障がい共通事業は除く	平成30年度 当初予算A	平成31年度 当初予算B	差引(B-A)
精神障害者保健福祉手帳交付事業	2,681	2,810	129
自立支援医療費支給費	1,110,118	1,088,723	▲ 21,395
精神障がい者入院医療費助成費	16,557	20,531	3,974
精神障がい者通所作業訓練所 通所交通費助成事業	18,712	15,882	▲ 2,830
地域活動支援センター(I型)事業	45,020	45,599	579
合計	1,193,088	1,173,545	▲ 19,543

※参考資料2参照